



企業版ふるさと納税
ご提案資料 | 令和5年度 |
嵐山町

地域支援課 政策創生担当
TEL0493-62-2152

CONTENTS

企業版ふるさと納税とは	P03
嵐山町の紹介	P04
寄附についての留意事項	P05
地方創生を推進する4つの事業	P06
▶ 人の流れをつくる事業	P07
▶ 住みよい環境をつくる事業	P08
▶ 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる事業	P09
▶ 雇用をつくる事業	P10

企業版ふるさと納税とは

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合、法人関係税から**税額控除**する仕組みです。**最大で寄附額の約9割が軽減されます。**

令和5年3月31日、「嵐山町ひと・しごと・地域再生計画」が内閣府地方創生推進事務局より認定を受け、嵐山町では**7ページ以降に示す4つの事業について寄附を募集**しています。

税額控除のイメージ

損金算入による軽減効果 国税＋地方税(通常の寄附)	法人住民税 法人税	法人事業税	企業負担
約 3割	約 4割	約 2割	約 1割

嵐山町の紹介

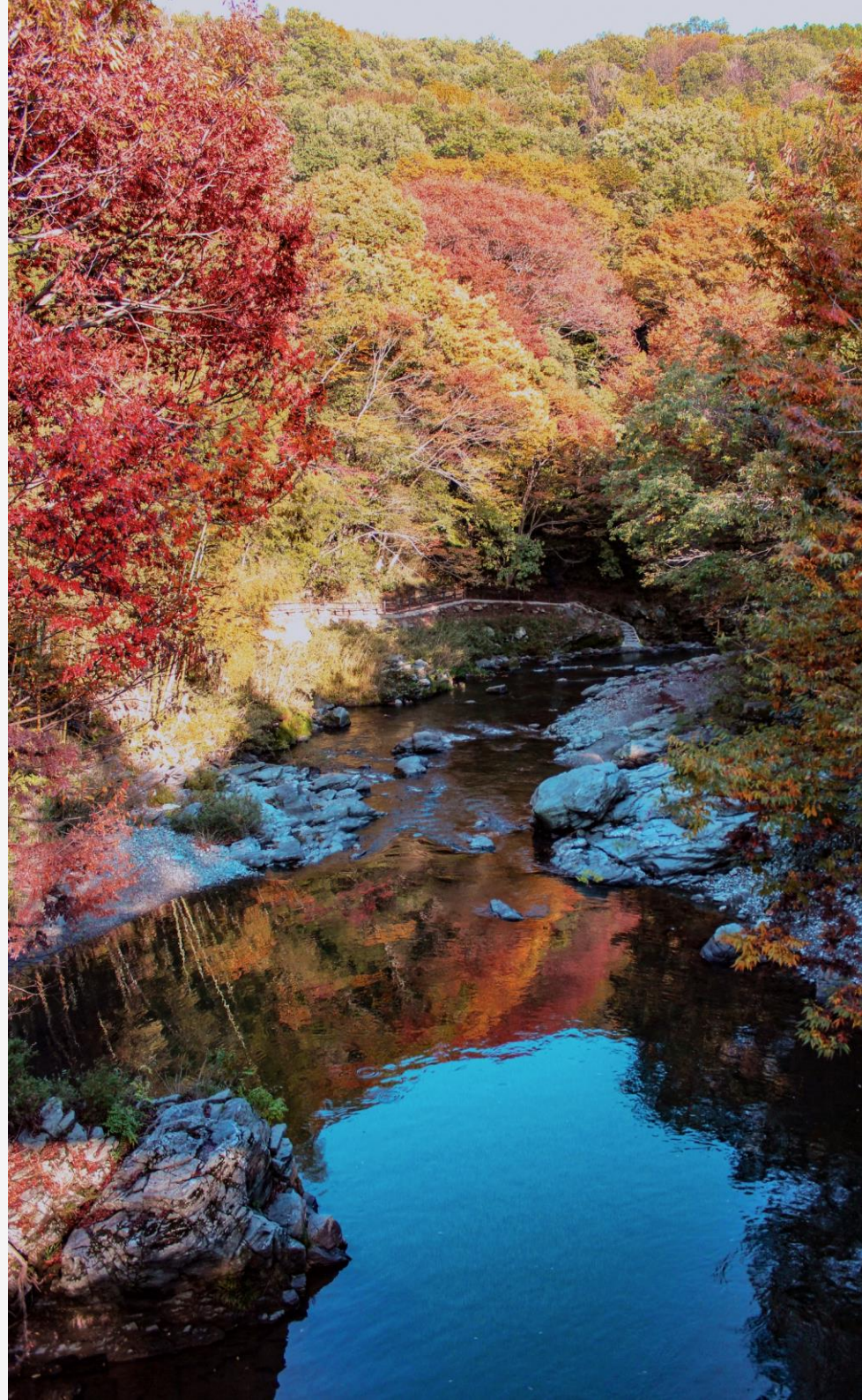
嵐山町(らんざんまち)は、埼玉県のほぼ中央に位置し、東京都心より60km圏にあります。

東京都内からのアクセスは関越自動車道「練馬IC」から約30分、東武東上線「池袋駅」から約60分です。

嵐山町は山あり溪谷あり、平地ありと変化に富んだ自然の宝庫で、国蝶オオムラサキが生息する地としても有名です。

埼玉県を代表する景勝地のひとつ「武蔵嵐山溪谷(むさしらんざんけいこく)」は、岩畳と槻川の清流・周囲の木々が織り成すみごとな景観と豊かな自然環境をもった、嵐山町の宝です。

「武蔵嵐山」は、我が国最初の林学博士である本多静六博士により名付けられたものです。溪谷の様子が京都の「嵐山(あらしやま)」に大変よく似ているということで、「武蔵国の嵐山」という意味で命名されました。この地名は後に、当町の町名にも採用され「嵐山町(らんざんまち)」となりました。



寄附についての留意事項

☑ 1回当たり**10万円以上**の寄附が対象です。

☑ 寄附企業への**経済的な見返りは禁止**されています。

NG 寄附を理由として、町から補助金を交付すること

NG 寄附を理由として、町から他の法人の場合より低い金利での貸付けを行うこと

OK 寄附企業に対して、町から感謝状等を贈呈すること

OK 町のホームページや広報紙等に、寄附を活用して実施している事業の紹介に併せて、寄附企業の名称を他の寄附者と並べて紹介すること

OK 寄附を活用して整備した町の施設等に銘板等を設置し、寄附企業の名称を他の寄附者と並べて紹介すること

☑ **本社が嵐山町に所在する法人の寄附は、本制度の対象となりません。**

地方創生を推進する4つの事業

01 | 人の流れをつくる事業

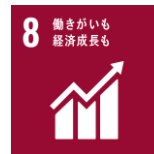
02 | 住みよい環境をつくる事業

03 | 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる事業

04 | 雇用をつくる事業



|01| 人の流れをつくる事業



武蔵嵐山溪谷管理事業

町の象徴『武蔵嵐山溪谷(むさしらんざんけいこく)』を保全し、より多くの方にご覧いただける環境を整えます。

町外から嵐山町に足を運んでいただくことで、地域活性化を図ります。

令和5年度予算額 158万円



千年の苑ラベンダー園管理事業

稼ぐ農業と地方創生を目指し、令和元年に「千年の苑ラベンダー園」をオープンしました。毎年6月に『らんざんラベンダーまつり』を開催し、多くのお客様をお迎えすることで、地域活性化を図ります。

令和5年度予算額 1,200万円



豊かな自然を守る事業

国蝶オオムラサキの飛び交う「オオムラサキの森」や「蝶の里公園」など貴重な地域資源を保全し、多くの方にご覧いただくための事業を実施しています。

令和5年度予算額 256万円



エリアリノベーション支援事業・空き店舗活用事業

町内の空き家・空き店舗を活用し、魅力的なエリアを創出します。「ちょっと楽しい、ちょっと面白い、ちょっと心地よい」嵐山町を創出し、地域活性化を図ります。

令和5年度予算額 179万円



|02| 住みよい環境をつくる事業



駅西公園整備

令和5年度予算額 2,200万円

武蔵嵐山駅西口公園を低年齢児が安全・安心に遊べる公園として再整備します。



スポーツ施設管理事業

令和5年度予算額 100万円

町民がスポーツを通じて健康で充実した生活を送るため、スポーツ施設を整備することで活気に満ちたまちづくりを進めます。



高齢者外出支援タクシー券

令和5年度予算額 1,500万円

車を運転できない高齢者の方が、気軽に外出し、いきいきと暮らしていけるようタクシー助成券を交付しています。

活き活きふれあいプラザやすらぎ運営事業

令和5年度予算額 532万円

「活き活きふれあいプラザやすらぎ」は町民の健康保持・増進と介護予防等を推進する施設です。

町民がいつまでも健康で活き活きと過ごすための拠点整備としての事業を実施していきます。

| 03 | 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる事業



子育てファミリー応援事業

令和5年度予算額 40万円

子供が産まれた家庭に対し、町とのつながり、子育て支援のきっかけをつくることを目的に「子育てファミリー応援金」を支給しています。



英会話講師派遣事業

令和5年度予算額 869万円

ALT(英会話講師派遣)を委託し、小中学生の英語教育の充実を図ります。

外国語とふれあう機会を増やし、グローバル人材の育成を図ります。

インフルエンザ予防接種(中学3年生・高校3年生)

令和5年度予算額 100万円

嵐山町では、令和5年度よりインフルエンザ予防接種の一部助成対象を高校3年生まで拡大し、子供達が安心して受験に臨めるようサポートしています。

子どものための図書購入事業

令和5年度予算額 270万円

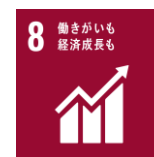
子供たちが意欲的に読書に取り組めるよう、知識の森嵐山町立図書館に図書を購入する事業です。読書を通じて、学びの原点である言葉とふれあう機会を創出します。

学校施設管理事業

令和5年度予算額 300万円

子供達が充実した教育を受けられるよう、学校施設を適切に管理していきます。

|04| 雇用をつくる事業



日本農業遺産(ため池農業)の推進事業

令和5年度予算額 529万円

嵐山町を含む比企丘陵地域2市5町の「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が令和5年1月18日、農林水産大臣より「日本農業遺産」として認定されました。

天水(雨水)のみを水源とするため池が今なお使用される農業システムが高く評価されたものです。

古くは7世紀初頭からこの地域に伝わる先人たちの知恵と努力の結晶を未来へと継承するための事業を実施しています。



幻の小麦「農林61号」復刻事業

令和5年度予算額 300万円

嵐山町のある比企地方では、昔から丘陵部の畑地や二毛作の水田裏作に小麦を栽培してきました。

その小麦は「農林61号」という品種で、「農林61号」を使ったうどんは「めんこ」と呼ばれていました。

近年、小麦は新しい品種や外国産が主流となり、埼玉県内で「農林61号」の種子の流通ルートが途絶えたため、「幻の小麦」とも言われています。

町では、嵐山町産の純正な「農林61号」を復刻し、「新たな嵐山の味」を協賛店と共に創り上げていくプロジェクトに取り組んでいます。

